

事業計画概要

APAF（アジア舞台芸術人材育成部門）

1 APAF（アジア舞台芸術人材育成部門）の目的

「アジアの若い舞台芸術家が出会う場所」として構想された国際共同制作の場である APAF において、すでに頭角を現しつつある気鋭のアーティストたちが、自分の過去の達成に固執することなく、「アジア諸国・諸都市の若手アーティストが、この先いったいどのような共同制作をしていくことが可能なのか、その可能性を探る実験」に身を投じる。参加者が、APAF で得た経験とネットワークを糧として、アジアの舞台芸術における第一人者として育つとともに、アジア圏における共同制作の大きな潮流に繋げ、アジア舞台芸術の振興を促進していくことを目指す。平成 30 年度より多田淳之介（演出家、東京デスロック主宰、富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督）氏がディレクターとなる。

2 事業概要

(1) 国際共同クリエーション（別添 3 参照）

ア 概要

前年度の国際共同制作ワークショップで制作された複数の小作品中からフルサイズ作品に発展させ上演する。

イ 選考方法

当財団及びディレクターが選定する。

(2) 国際共同制作ワークショップ（別添 3 参照）

ア 概要

演出家 3 名の下に 3 チームを結成（1 チームあたり：演出家 1 名＋役者 4 名程度）
1 チームあたりの役者 4 名のうち、2 名を東南アジアのアーティストとする。稽古の実施後、東京芸術劇場で小作品を上演する。

イ 選考方法

演出家は、ディレクターが指名する。

役者については、(ア) 国内 (イ) 海外に分ける。

(ア) 国内

公募や推薦等に基づき選定する。選考は応募書類・エッセイをもとに、当財

団及びディレクター等が行う。

(イ) 海外

公募や推薦等に基づき、東南アジアのアーティストを中心に選定する。選考は応募書類・エッセイをもとに、当財団及びディレクター等が行う。

(3) APAFアートキャンプ

ア 概要

未来の舞台芸術界を担う新しい才能を発掘・育成するため、アジアを拠点に活動する演出家、振付家、劇作家、プロデューサー、ドラマトウルクを対象に、本事業の実施期間中、稽古の見学や上演作品の観劇、レクチャー等による“インプット”とディスカッションによる“アウトプット”を繰り返し行い、創り手としての「軸」を築く。

イ 主なプログラム

(1) レクチャー

演劇界のベテラン講師による講義（レクチャー）を実施。講義後、に参加者とのディスカッションを行う。

(2) フォーラム

アートキャンプ生及び一般参加者を対象に、APAF（アジア舞台芸術人材育成部門）のために来日する演出家やプロデューサーによるフォーラムや国際共同制作に関して、公開討議を実施する。

ウ 対象及び人数

原則として40歳以下のアジア地域を拠点とする演出家、振付師、劇作家、プロデューサー、ドラマトウルク等7名程度

(4) ラップ-アップ

ア 概要

作品発表後、①今回の共同制作の振り返り、②自分たちの活動（もしくはその国の舞台芸術状況）に関するプレゼンテーション、③日本の舞台芸術をとりまく状況視察や関係者との交流のための機会と時間を2日確保する。①②の例としては、各国の演劇事情、自らの活動についてのプレゼンテーション・ディスカッションを行

ったうえで、舞台関係者と交流会を開催する等。

イ 参加者

(2) 国際共同制作ワークショップの参加者（演出家・役者・演出助手）等

ウ 企画内容

当財団及びディレクターにより決定する。

3 開催日程等

内容	日程	会場
公演・上演会	11月9日から11日まで	東京芸術劇場 シアターウエスト
クリエーション 稽古開始	10月15日開始	水天宮ピット
ワークショップ開始	10月29日開始	東京芸術劇場等
APAF アートキャンプ	10月15日から11月11日まで	東京芸術劇場、 水天宮ピット等
ラップアップ	11月11日実施	東京芸術劇場